

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	④安全で心やすらぐまちづくり	①防災・消防	⑤	セーフコミュニティ活動の推進

事業名	安全・安心なまちづくり連携活動事業	担当課名	危機管理課
-----	-------------------	------	-------

### 【事業の概要】

地域や行政などが一緒になって取り組む安全・安心なまちづくり連携活動を通じて、地域コミュニティの活性化や、より安全で安心して暮らすことのできるまちをめざす。

#### (事業概要等)

各種データより脆弱性が明らかになった本市の重点分野(交通安全、子どもの安全、高齢者の安全、自殺予防、犯罪防止、災害安全)において課題を設定し、安全・安心なまちづくりに係る取組みを行うなど安全の向上を図る。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,487	1,669	1,679	3,852	
うち市負担分(千円)	26	30	0	30	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
対策委員会開催回数(のべ回数)	回	8	7	6	9

(指標を設定できない理由)

#### (成果の概要)

分野別対策委員会等では様々な立場の委員が参画し、それぞれの視点から意見交換が行われている。会議では、委員間で地域の安全・安心に関する課題や目標の共有が図られるとともに、課題に対する具体的な取組みが展開され、安全・安心なまちづくりに寄与している。

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	分野別対策委員会では、引き続き津波避難や備蓄品などの情報を添えた簡易トイレや、夜間の暗がり解消のため各家庭での玄関灯の点灯を促す「一戸一灯運動」のチラシを作成・配布などが実施された。変更点は、日常生活を送る中で、防犯の視点を持って周囲を見守る「ながら防犯」活動に新たに取組み、啓発グッズの作成・配布を行った。
--------------------	--

### 【事業の課題】

課題・問題点	新型コロナウイルス感染症以降、書面やwebによる会議等が普及し、委員や事務局の負担軽減に繋がった。一方で、発言や議論の減少が懸念される。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	安全で安心して暮らすことのできるまちをつくるには、地域を支える人とのつながりが重要である。他方、令和3年10月に認証満了した旧セーフコミュニティ(SC)での活動を引き継ぐ「安全・安心なまちづくり連携活動」は、立場や異なる人や組織をつなぐ点で、一定の役割を果たしている。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	④安全で心やすらぐまちづくり	①防災・消防	②	地域で互いに助け合って地域を守る「共助」の推進

事業名	自主防災組織活動支援事業	担当課名	危機管理課
-----	--------------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域住民によって構成される自主防災組織の結成や、その活動に対して支援を行い、地域防災力の向上を図る。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織活動の活性促進のため、自主防災組織連絡協議会及び各自主防災組織の事業(備蓄品の整備や訓練等)に対し、補助金を交付する等の支援を行う。</li> <li>【補助金額】補助対象経費の2分の1の額とし、年間30,000円を限度とする。</li> <li>・自主防災組織が未結成の地域に対し、結成促進のため設置時の支援補助として、防災活動に必要な防災資機材を提供する。</li> <li>【補助金額】自主防災組織に参加している世帯数に応じた額とする。</li> <li>①100世帯未満は20万円を限度とする。②100世帯以上300世帯未満は30万円を限度とする。③300世帯以上500世帯未満は50万円を限度とする。④500世帯以上は70万円を限度とする。</li> </ul>

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	619	2,506	923	3,200	
うち市負担分(千円)	619	2,506	923	1,200	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
自主防災組織新規設置数	組織	0	0	1	1
自主防災組織研修参加人数	人	12	37	33	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
自主防災組織の活動に対して補助金を交付したことにより、自主防災組織における備蓄品の整備や防災意識の高揚と防災体制の強化充実が図られた。					

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	自主防災組織連絡協議会の活動の充実を図るため、令和5年度から会議の出欠状況や資料の確認を、郵送や電話だけでなく、SNSを利用することで事務の軽減を図った。
--------------------	---

### 【事業の課題】

課題・問題点	自主防災組織は「高齢化」や「担い手不足」といった課題を抱えている。その活動を実施していくために地域と連携し、活動を継続する仕組みづくりや活動内容の活性化・充実化を図ることが課題である。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	災害による被害を軽減するためには、地域住民による「助け合い」が重要であり、地域のつながりが大きな力となることから、引き続き、自主防災組織の活動を支援する。一方で自主防災組織の抱える課題を鑑みると、地域の防災力を高めるには新たな担い手が必要であるため、訓練等を通じて、他の地域団体等とのつながりを深められるよう努める。

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	④安全で心やすらぐまちづくり	①防災・消防	②	地域で互いに助け合って地域を守る「共助」の推進

事業名	防災訓練事業	担当課名	危機管理課
-----	--------	------	-------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

市民とともに作る災害に強い安全なまちをめざし、訓練を通じ、住民、自主防災組織、防災関係機関、行政機関等それぞれの災害対応力の強化と相互の協力体制を確立するとともに、地域の防災力の向上と防災意識の高揚を図る。

(事業概要等)

地域防災訓練、津波避難訓練、総合防災訓練、図上訓練を実施し、災害への脆弱性を把握し、災害への対処方法を学ぶ。

### 【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	613	1,192	1,866	3,852	
うち市負担分(千円)	613	65	447	30	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
防災訓練参加人数	人	68	634	515	1,500

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

大地震発生等による大規模災害への対応を、市民、自主防災組織、防災関係機関、行政機関、民間企業等が実践的な訓練を行うことにより、それぞれの災害対応力の強化と相互の協力体制の確立が図れ、地域の防災力向上と市民の防災意識の高揚に重要な役割を果たしている。

### 【事業の見直し】

R4年度からの 変更点・改善点	防災訓練への参加者が固定化・減少傾向にある点を踏まえ、引き続き、民間企業や関係団体と連携しながら、多忙な若年層や子育て世代が興味・関心を持ちやすく、参加しやすい形で防災訓練やイベントを実施した。前年度からの変更点・改善点は、「所要時間を短縮する」、「ノベルティを充実させる」、外国人の増加を踏まえ「日本語学校の生徒防災訓練を実施する」等が挙げられる。
--------------------	---

### 【事業の課題】

課題・問題点	多忙で防災意識が低いとされる若年層や子育て世代の備えを促すため、引き続き、「普段の興味・関心ごと」と「防災」を結びつけるなど、関係機関と連携して内容を工夫するとともに、SNSなど周知方法を見直していく必要がある。
--------	--

### 【事業の評価・方向性】

担当課の評価	A 現行どおり
上記評価理由および今後の方向性	市民一人ひとりが自助・共助の防災意識を高め、災害時に迅速・的確に行動できるようにするには、訓練の積み重ねが重要である。加えて、市民が防災に関心を持つきっかけは様々である。このため、若年層など多様な市民の行動変容を促すため、関係団体や民間企業と連携し、世代など対象者の特性に合うよう訓練やイベント内容、周知の仕方を工夫する。